

インマヌエル中目黒キリスト教会 聖日礼拝・2007.9.9.

メッセージ

「異邦人の
使徒として」

ローマ人への手紙15章14節-21節
竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書

ローマ人への手紙15章14節-21節

14 私の兄弟たちよ。あなたがた自身が
善意にあふれ、すべての知恵に満たされ、
また互いに訓戒し合うことができること
を、この私は確信しています。

15 ただ私が所々、かなり大胆に書いたの
は、あなたがたにもう一度思い起こして
もらうためでした。

16 それも私が、異邦人のためにキリスト・イエスの仕え人となるために、神から恵みをいただいているからです。私は神の福音をもって、祭司の務めを果たしています。それは異邦人を、聖霊によって聖なるものとされた、神に受け入れられる供え物とするためです。

17 それで、神に仕えることに関して、私はキリスト・イエスにあって誇りを持っているのです。

18 私は、キリストが異邦人を従順にならせるため、この私を用いて成し遂げてくださったこと以外に、何かを話そうなどとはしません。キリストは、ことばと行いにより、

19 また、しるしと不思議をなす力により、さらにまた、御霊の力によって、それを成し遂げてくださいました。その結果、私はエルサレムから始めて、ずっと回ってイルリコに至るまで、キリストの福音をくまなく伝えました。

20 このように、私は、他人の土台の上に
建てないように、キリストの御名がまだ
語られていない所に福音を宣べ伝えるこ
とを切に求めたのです。

21 それは、こう書いてあるとおりです。

「彼のことを伝えられなかった人々が見
るようになり、聞いたことのなかった
人々が悟るようになる。」

ローマ書連講(47)

メッセージ

「異邦人の使徒として」

ローマ人への手紙15章14節-21節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「それも私が、異邦人のためにキリスト・イエスの仕え人となるために、神から恵みをいただいているからです。私は神の福音をもって、祭司の務めを果たしています。それは異邦人を、聖霊によって聖なるものとされた、神に受け入れられる供え物とするためです。」（15:16）

はじめに：

15:14から、手紙の締めくくりに入る

A. 異邦人に仕える使徒（14-17節）

1. 「遠慮がちな大胆さ」（14-15節）

- ・パウロはローマ信徒の善意と知恵を信頼する
- ・パウロの「遠慮と大胆」

A. 異邦人に仕える使徒（14-17節）

2. 異邦人に仕える恵み（16節a）

- ・パウロの大胆さの理由
- ・恵みによって異邦人の使徒に選ばれた

A. 異邦人に仕える使徒（14-17節）

2. 異邦人に仕える恵み（16節a）

- ・ 「異邦人のためのキリスト・イエスの仕え人」

- ① 異邦人への宣教師は少なかった
- ② キリストの救いの普遍性の証のためにも
- ③ 大宣教命令に従うためにも

A. 異邦人に仕える使徒（14-17節）

3. 異邦人のための祭司（16節b）

- 「万人祭司」（1ペテロ2:9）とは異なる意味での「祭司」
- 異邦人を聖い供え物として捧げる祭司（使徒15:8以下）：救いから聖潔へ

A. 異邦人に仕える使徒（14-17節）

4. 神に仕える誇り（17節）

B. 異邦人伝道の実践(18-21節)

1. 伝道の原動力なるキリスト

(18-19節 a)

- ・ 伝道の目指すところ
：「異邦人を従順にならせるため」
- ・ 神の主導権：「私を用いて」
- ・ 説教に表れる力：「言葉と行い」
- ・ 説教に伴う奇跡的な業
：「しるしと不思議をなす力」
- ・ 聴衆に働く力：「聖霊の力」

B. 異邦人伝道の実践(18-21節)

2. 伝道の範囲：エルサレムから
イルリコ（19節b）

- 1600 km（日本列島の長さ）を
僅か20年で伝道
- 「福音で満たす」：宣教拠点の
確立

イルリコ



パウロの第3次伝道旅行と ローマへの旅

Copyright by C. S. HAMMOND & CO., N. Y.
0 50 100 200 300 マイル
0 50 100 200 300 400 500 Km

第3次旅行 →
ローマへの旅 →

古い伝説では、パウロはローマへの旅の後、地中海世界を広く旅して回ったとある。

ローマへの旅の出発点
エルサレム

B. 異邦人伝道の実践(18-21節)

3. パウロの開拓者精神 (20-21節)

- ・ 新しい場所を選ぶ：

「他人の土台の上に建てない」

- ・ 新しい人々を選ぶ(イザヤ52:15)

終わりに

1. 未伝の人に福音を伝えよう
2. 宣教師達のために祈ろう